

読むまえに...

- ① 手順の説明：これからすることを子どものやる気が増すように楽しく説明する。



これから本と一緒に読みましょう。読み終わったら、どんなお話だったか話しましょう。

- ② テキスト選び：いっしょに読む本を選ぶ。

・テキストを子どもにわたす。



はじめは私が読んで、〇〇さんにはここ(79ページ8行目)から読んでもらいます。どうですか。読めそうですか。もう少しやさしい本にしますか。

・冒頭の2文(76ページ4行目まで)を音読させ、読み続けるかテキストを変えるかを子どもに選ばせる。



少し読んでみて、決めましょう。
ここ(76ページの4行目)までを声に出して読んでみてください。

・子どもが読むのを聞く。読み終わったら、もう一度、次のように質問をする。



最後まで読めそうですか。

・「読める」と言った子ども ☞ そのままこの実践ガイドにそって進む。

・「読めない」と言った子ども ☞ **レベルEのテキストへ**

- ③ 興味・関心：テーマについて知っていることを確認し、興味・関心を高める。

・題名を読みながら、テーマ、作者について簡単に説明する。



これは『自然を守る』というお話です。自然や環境について考えたことがありますか。どんなことですか。(子どもの発言内容に対して)それはいいですね。

・写真と言葉について、簡単に説明する。



(80ページの写真) これは何でしょうか。木を食べる虫ですね。
(81ページの写真) これは何でしょうか。火事で、木が全部焼けてしまっていますね。
(85ページの写真) これは何でしょうか。稲(米)を食べる虫(害虫)ですね。

- ④ 予測：テキストを子どもに見せながら、はじめから77ページの6行目までを実施者が読んで聞かせ、その後にテキストを閉じて、話の続きを予測させる。



では、はじめから私が読みますね。よく聞いていてください。

・読み終わったら、もう一度、次のように質問する。



ここまで、どんなことが書いてありましたか。
では、この先、どんな話が続くと思いますか。

- ⑤ 読み聞かせ：続きを実施者が読み、子どもはテキストを見ながら聞く。

・テキストを子どもに見せながら、続きから79ページの7行目まで実施者が声にだして読む。



ではもう少し私が読みますね。しっかり聞いていてください。

メモ：

このテキストは、一定の長さのある文章を、句読点や意味のまとまりで区切りながら読め、比較的語彙も豊富で、社会的なテーマにも興味を持つようになってきている子どもに適している。

語彙や漢字は習得途上であっても、意欲的にこのテキストを選ぶ子どもがいるかもしれない(比較的滞日期間が浅いが、母語での読書力が身につけている子どもなど)。そのような場合は、わからない語彙や漢字について、子どもが質問しやすい雰囲気を作り、質問にはしっかり答えるようにする。

読みましょう...

① 音読：続きを子どもが読む。

・まず、音読と黙読とどちらが得意か確認する。



これから〇〇さんに読んでもらいます。〇〇さんは、声に出して読むのと、黙って心の中で読むのとどちらが好きですか。どちらのほうが、お話の内容がよくわかりますか。

* 黙読を選んだ子どもに対して：79ページ8行目から81ページの9行目までを音読で、81ページ10行目からテキストの最後までを黙読で読ませる。



では、〇〇さんがどんなふうに読んでいるか知りたいので、ここ(79ページの8行目)からここ(81ページの9行目)までは声に出して読んでください。その後は黙って読んでください。分からない漢字やことばがあったら、聞いてください。後でどんなお話だったか聞きますね。しっかり読んでください。では、お願いします。

・81ページの9行目まで読み終わったら、次のように合図する。



黙って読んでいいですよ。もし、今読んだところをもう一度、黙って読みたかったら、読み直してもいいですよ。

* 音読を選んだ子どもに対して：79ページ8行目からテキストの最後までを音読で読ませる。



では、ここ(79ページの8行目)から最後まで声に出して読んでください。分からない漢字やことばがあったら、聞いてください。後でどんなお話だったか聞きますね。しっかり読んでください。では、お願いします。

・実施者は音読速度、区切り方、つまづいたときの対処の仕方などに注意しながら子どもの音読を聴く。

・終わったら、声かけをする。



とても上手に／頑張って、読めましたね。

話しあいましょう...

① 要点の再生：テキストをとして、子どもがテキストの内容を再生する。 実施者は声かけをしつつ、子どもの話を最大限に引き出す。



ではこのお話はどんなお話でしたか。はじめてこのお話を聞く人にわかるように話してください。終わったら『終わりです』と言ってください。

要約チェック

現状	□1. 人間は自然を資源として利用
	□2. 人間の都合のいいように自然を変えて生活
問い	□3. この現状のままではよいのか
主張の根拠	事実 □4. 自然界のさまざまな生物たちはつりあいを保って生活
	つりあいが破れた例 □5. 風で木が倒れた→キクイムシが大発生→森を破壊→山火事→大洪水
	つりあいを人間が破った例 □6. イネの害虫を殺すために農薬をまいた→害虫の天敵のクモもいなくなった→農薬に強い別の害虫が増えた
例のまとめ	□7. 人間の活動が盛んになる→自然の破壊が進む→その結果、人間自身に不幸をもたらしている
筆者の主張	主張① □8. 人間は自然の資源を利用し、開発を進めながらも、自然を守って行く必要がある
	主張② □9. そのために、自然界の生物のつながりを正しく理解しておくことが大切
	主張③ □10. 自然を守ることは、人間自身のためである

② 解釈：話し合いながら、要旨について理解を深める。

・テキストを見せながら、次の質問をする。



たくさん／頑張って／上手にお話できましたね。今度は少し私が質問しますね。この本を見ながら考えてもいいですよ。



人間が思いのままに自然の姿を変え、その資源を自分たちのものにしてしまっているのでしょうか。それはどうしてですか。自然を守ることがどうして、人間自身のためになるのでしょうか。このお話で作者が伝えなかったことは何だと思いますか。どうしてそう思いますか。

・その他の質問をしてもよい。

③ 意見：内容・要旨について意見を述べる。



〇〇さんは、自然の資源を利用し、開発を進めることについてどう思いますか。作者が伝えなかったことに対して〇〇さんはどう思いますか。どうしてそう思いますか。

読んだあとで...

① ふり返り：全体をふり返り、良いところを見つけてしっかりほめる。



はい、これで終わりです。頑張りましたね。難しかったですか、簡単でしたか。〇〇さんはとても上手に／頑張って〇〇できましたね。〇〇がよくわかっていますね。

② 読みへの内省：自分がどのように読んでいるかを意識させる。



では(内容で)わかりにくいところがあったら、どうしますか。
(読み返す、イメージする、具体例を考える、誰かに聞く、そのまま読み続ける など)
わからないことばがあったときはどうしていますか。(読み返す、絵をみる、声に出して言う、推測する、絵を見る、誰かに聞く、そのまま読み進める、辞書を使う など)
〇〇語を使って考えたりしましたか。(した場合は例えばどの場面でどのようにしたか)

③ 読書習慣：本や本を読むことについて話し合い、読書への興味・関心を高める。



本は好きですか。よく本(教科書、マンガではない本)を読みますか。いつ読みますか。(朝読書・図書館の時間、休み時間、放課後(うちで)など)何のために読みますか。(楽しむ、新しい知識を得る、調べる(情報を集める)ため)この1学期間(1年間、〇休みの間など)に何冊ぐらい本を読みましたか。どんな本(伝記、歴史小説、物語、冒険もの、科学などの説明文、マンガ、インターネットのサイトなど)をよく読みますか。題名を教えてください。(わかれば)

・母語での読みの力が高い子どもには、次のような質問をしてもよい。



〇〇語ではよく本を読みますか。
〇〇語でどんな本を読みますか(物語・小説、説明・情報文、教材、インターネット)一週間にどのくらい〇〇語で本を読みますか。



ではこれからたくさん本を読んでください。ありがとうございました。